

目標達成計画

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 24 25 26	入居者間のADL差が大きくなり、また個々の状態や訴えが多様化している。その中で、レベルの低い方、問題行動が著明な方が置きなりにされがちである。	個々のニーズに合わせた適切な支援、問題解決が行える。	ケアプランやセーフティ作成能力の向上の為の勉強会を定期的に開催。訴えの難しい方、孤立している方に積極的に寄り添い、十分な個別ケアを実施する。困難事例に対するチームケアを徹底する。	12 か月
2	21	入居者様同士の支え合いや助け合いが見られ、関係性も出来つつあるが、現状、職員主導になりがちであり、自発的な活動には至っていない。	家事活動を通して、役割や楽しみを持つことで職員主導ではなく入居者様からの自発的な活動、支え助け合い姿を目指す。	職員は、場作り、環境作りを行い、必要以上の干渉はしない。か量に合わせた活動を促し、入居者様同士の関係やコミュニケーションの観察を行う。又、各々の特色を見つける。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。